

大会名称: 第72回国民体育大会
愛顔つなぐえひめ国体

開催場所: ツインドーム重信 Aコート

試合区分: No. 1 成年男子 1回戦

期 日: 2017(H29)年10月1日(日)

開始時間: 10:00

終了時間: 11:30



主審: 甲斐 清

副審: 中井 将基

<p>秋田 (東北)</p>	<p>○ 100</p>	<p>23 — 10 23 — 13 27 — 17 27 — 15 — — —</p>	<p>● 55</p>	<p>大阪 (近畿)</p>
--------------------	------------------	--	-----------------	--------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4		佐藤 光	12	0	6	0	2	3	1
5		大矢 孝太郎	19	0	9	1	3	12	0
6		館 龍星	6	0	3	0	0	3	0
7	*	鈴木 隆史	14	2	3	2	2	5	2
8		志水 一希	0	0	0	0	1	1	3
9		菊地 啓志	0	0	0	0	2	0	2
10		高橋 純	7	0	3	1	2	3	3
11	*	山崎 渉真	9	0	4	1	1	3	2
12	*	根岸 城二	8	0	3	2	3	0	0
13	*	柳澤 洸太	8	0	4	0	1	4	8
14	*	森 知史	8	0	3	2	0	5	2
15		斉藤 大輔	9	0	4	1	0	3	0
HC		柿崎 智弥 / TEAM							
合計			100	2	42	10	17	42	23

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4		会田 太郎	0	0	0	0	1	0	0
5	*	山田 崇文	0	0	0	0	2	4	1
6		吉永 正志	0	0	0	0	0	0	0
7	*	池原 慶紀	9	1	3	0	0	0	3
8	*	野中 博文	4	0	1	2	2	2	0
9		鈴山 高範	11	3	1	0	1	2	2
10	*	三島 大知	10	0	4	2	3	6	3
11	*	小林 礼稔	7	1	2	0	0	1	1
12		高橋 伸太郎	0	0	0	0	0	0	0
13		木下 誠	0	0	0	0	3	3	2
14		橋本 卓哉	5	1	1	0	0	1	1
15		室垣 佑真	9	1	2	2	1	4	0
HC		宮武 謙次 / TEAM							
合計			55	7	14	6	13	23	13

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル RB: リバウンド AS: アシスト

第1ピリオド、両チームマンツーマンディフェンスで始める。大阪府は、#11のミドルシュートで先制するも、3Pがなかなか入らずリズムを掴めない。その間、秋田県はドライブインやミドルシュートなどで着実に点数を重ねていく。秋田#13のスティールからブレイクで10点差となったところで大阪府タイムアウトを取る。その後は、一進一退の攻防となるが、秋田県の#11がブザービートのタップシュートを決め、10-23と秋田県リードで第1ピリオド終了。

第2ピリオド、大阪府#7や#15が3Pを決め流れをつかもうとするが、秋田県が攻撃のスピードを上げ、カットインやブレイクなど攻撃の手を緩めず点差が開いていく。18点差ついたところで大阪府も前半2度目のタイムアウトを取るが、その後も秋田県はセンタープレーなどで点を重ねていく。ピリオド終了間際、大阪府#6が3Pを決め、23-46と23点差で前半を終了。

第3ピリオド、大阪府はリングにシュートが嫌われなかなか得点が入らない。その間に秋田県は#7の3Pなどで得点し、30点差となる。大阪府も#9の連続3Pなどで差を縮めるが、その後点差は開き40-73と33点差で第3ピリオド終了。

第4ピリオド、大阪府はオールコートディフェンスでプレッシャーを強くし、流れを変えようとする。#11の3Pやミドルシュートで得点をあげるが、秋田県は確実に点数を重ね点差は開いていき、55-100で秋田県が勝利。秋田県は、高さスピードを活かし自分たちのペースで試合を運ぶ強さを見せた。果敢に戦った大阪府も健闘を称えたい。

担当者: 荒井 慎也(愛媛県バスケットボール協会)

日本体育協会・日本バスケットボール協会・愛媛県バスケットボール協会

